

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0110450000	秘書課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	01	一般管理費	事業 1	002	0 1 0 2 0 1 0 1
事業 2	010	表彰関係経費	事業 3	001	表彰関係経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市勢の伸展、公共の福祉の増進等に貢献したものの又は広く市民の模範となるものを表彰する。
- ・内容 表彰することで、市民活力の醸成を図る。
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市のために尽力された方に対し感謝の意を表するとともに、その功績を広く周知することで、市民のさらなる活躍と合わせて、市の発展につながることを期待する。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 「秦野市表彰条例」、「秦野市表彰条例施行規則」、「秦野市感謝状及び特別感謝状の贈呈の基準に関する要綱」
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 873千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 1,267千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 970千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 表彰者審査委員会の開催 (10月)
市功労者等表彰式を開催 (11月)
各種市長賞の贈呈
- ・令和7年度 表彰者審査委員会の開催 (10月)
市制施行70周年記念式典内で表彰を実施 (11月)
各種市長賞の贈呈

4 事業の自己評価 (目標値に対する効果の検証・課題・問題点等) [C]

令和7年度は、「秦野市表彰条例」に基づき市民功労表彰を1人と3団体に、「秦野市感謝状及び特別感謝状の贈呈の基準に関する要綱」に基づき、感謝状を100名と23団体に贈呈するとともに、広報はだの11月1日号及び市ホームページに受賞者の氏名及び功績を掲載し、広く顕彰することで市民活力の醸成を図った。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0110450000	秘書課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	01	一般管理費	事業 1	002	0 1 0 2 0 1 0 1
事業 2	010	表彰関係経費	事業 3	001	表彰関係経費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

表彰者審査委員会の開催（10月）、市功労者等表彰式の開催（11月）、各種市長賞の贈呈

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

前年度比 △297千円（△23.4%）

・市功労者等表彰式における表彰予定者数の減による、額縁ほか記念品及び写真印刷枚数、筆耕料の減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

ア 令和5年度

市民功労表彰 3名・1団体
自治功労表彰 4名
特別感謝状 2名
感謝状贈呈 42名・12団体

イ 令和6年度

市民功労表彰 3名・1団体
自治功労表彰 2名
文化スポーツ表彰5名・1団体
特別感謝状 2名
感謝状贈呈 34名・13団体

ウ 令和7年度

市民功労表彰 1名・3団体
感謝状贈呈 100名・23団体

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

令和7年度は、市制施行70周年記念式典内において表彰を実施した。

令和8年度以降は令和6年度の表彰式の手法を基に最善の開催方法を検討し、さらなる事務の効率化と表彰式当日の適正な人員配置に努める。

また、市長賞の交付については、引続き適正な執行に努める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0110450000	秘書課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	01	一般管理費	事業 1	002	0 1 0 2 0 1 0 1
事業 2	010	表彰関係経費	事業 3	001	表彰関係経費

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0110450000	秘書課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	01	一般管理費	事業 1	002	0 1 0 2 0 1 0 1
事業 2	020	秘書事務費	事業 3	001	秘書事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市長及び副市長の行政に関するトップマネジメントの円滑な執行を補佐し、また、市の防災、平和、国際交流等に係る自治体間交流に必要な事務を行うもの。
- ・内容 市長及び副市長の秘書事務に関すること。新年賀詞交歓会に関すること。
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 該当なし
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 4,184千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 4,666千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 5,016千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 新年賀詞交歓会を秦野商工会議所において飲食を提供する従来の方式で実施。
- ・令和7年度 1月に新年賀詞交歓会を秦野商工会議所において飲食を提供する方式で実施。

4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

姉妹都市・諏訪市との自治体間交流及び新年賀詞交歓会を通じ、市内各種団体等の長との意見交換の場を創出。

5 令和8年度の実施内容(課題解決への取組等)[A]

諏訪湖祭湖上花火大会への出席(8月)
 壱岐市・勝本港まつりへの出席(10月)
 韓国・坡州市訪問(時期調整中)
 新年賀詞交歓会の開催(1月)

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0110450000	秘書課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	01	一般管理費	事業 1	002	0 1 0 2 0 1 0 1
事業 2	020	秘書事務費	事業 3	001	秘書事務費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

前年度比 一般財源 350千円 (7.5%)

- ・令和7年度に本市開催であった全国報徳サミット及び名水サミットへの出席による旅費の増
- ・海外友好都市である韓国坡州市への訪問のための旅費を計上したことによる増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

特になし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

市長及び副市長のトップマネジメントのサポートをより円滑に実施する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし